



インスピレーションになろう

事務局 四国中央市金生町下分789-1
http://www.iyomishima-rc.jp
E-mail:iyomis@iyomishima-rc.jp
例会 金曜日 12:10~13:10
■会長／山内一正 ■幹事／大西克弘 ■広報委員長／植村幸浩

BE THE INSPIRATION

2018-19年度国際ロータリー会長

No.39
平成 31.3.29
第3136回

I M 報 告



青 木 良 臣

この度は、4度目のIMに参加させていただきました。ガバナー挨拶やガバナー補佐の挨拶のあと、廣畑先生の著書「ロータリーの心と原点」についての講演があり、5大奉仕の内、特に職業奉仕について、奉仕という意味は、利益を求めずに、人に尽くすこととあります。だから、奉仕という意味にあたらないのでは、そのまま英語でサービスで良いのではという話であります。また、廣畑先生に質問の機会があり、ロータリーに勧誘するにあたり「相手に対してどうゆう勧誘の仕方がいいですか」という質問に「あんまり定款や細則を説明するより、色々な人との交流ができますよ、とかメリットを説明した方がいいですよ」との答でした。また、来年のIMのホストの新居浜南クラブが、全員出席していたので、再来年、伊予三島ロータリークラブの担当クラブなので、全員出席をしましょう。

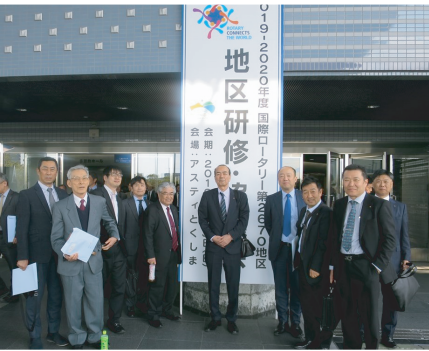
2019年3月23日今治北ロータリークラブ 主管IM、インターシティミーティング 報告



外 山 英 敏

今回のIMは今治北ロータリークラブのガバナー補佐・八塚誠一氏のもとで今治国際ホテルにて開催されました。基調講演を福岡西ロータリークラブの医学博士・廣畑富雄先生が「ロータリーの心と原点基本に返ろう」と題してスライドを使って非常に丁寧に解説されました。第Ⅱ部は講演後の先生との質疑応答のフォーラム(一つのテーマで意見交換する)として行われました。廣畑富雄先生は日本のロータリアンの中では経験も深く、一番ノーマルで正しいご見解を持たれた指導者であると思います。今回はロータリーとは何かを考え理解する上で大きな

機会でありました。先生は現在のロータリークラブは間違った方向に突き進んでいると言外におっしゃっています。2016年の規定審議会においてロータリーの例会は月に2回以上すべきであると、ロータリーの後進国に合わせた規定に改訂しました。ロータリーの例会は毎週の例会が基本であります。また例会出席が一番大切であるという基本がないがしろにされています。これは全世界のロータリアンの数の減少が原因であると思います。後進国ではロータリアンの人数は増えています。しかし出席率は非常に低い。アメリカをはじめとして先進国のクラブではロータリアンの人数は激減しています。消滅してしまったクラブさえあります。原因はロータリーの原点を見失ってあまりにも寄付集めをすることに傾いて、会としての魅力がなくなったことに多くの会員が失望した結果でしょう。大切なのは毎週の例会に出席して、知り合いを広めここで知り合った友人から本当の職業的なサービスと倫理的な行動理念を学んで自分と社会の幸福を追求することです。ロータリーを始めたのはポール・ハリスです。ポールはなぜロータリーを作ろうと思ったかと聞かれると「淋しかったから」と答えています。ロータリーの魅力は会合に出てファーストネームで呼び合える仲間と親睦を深める事にあります。ロータリーの基礎にサービスをすえたのはアーサー・フレデリック・シェルドンです。日本のロータリークラブでサービスを奉仕という日本語に訳したのは大きな誤りでした。奉仕という言葉は無償で仕えるという意味です。サービスというのは大変広義な意味を含んでいますので、サービスはそのままサービスといえればよいと米山梅吉さんも言っています。シェルドンのサービスと幸福の三角形はそのサービスという本質を解明しています。廣畑先生の著書「ロータリーの心と原点」の27ページにはその図と解説があります。サービスとは無償の奉仕とはちがいます。三角形の一辺は「愛」であります。あとは「良心」と「お金」です。この三者がよりよく発揮されたときに顧客も自分も幸福が得られるというのがサービスの理念です。シェルドンはHe profits most who serves best『最もよくサービスするものは最もよく報われる』というモットーを提唱しました。「奉仕の理想」というロータリーソングの歌がありますが、この歌は日本が第二次世界大戦へと突き進むときにロータリーという会が国のために尽くしているのだということをアピールするために作られたものです。今となっては御国に捧げん我等の生業というのは少しおかしい。しかし元気がでる歌ではあります。御国というのを顧客や社会の為にと解釈すればよいと私は思います。ロータリアンはクラブの例会に出席して学び、家に帰って自分の職業を通じて良心的・倫理的なサービスを提供することによって顧客と社会に貢献する。そして自分もお金という成果をいただいて皆が幸福になろうというのがロータリーの基本的な理念であります。ロータリーで金銭的な奉仕をする。それも大切なことではありますがクラブが何のために作られたかという基本ははずさないことが大切かと思いました。日本のロータリークラブはロータリーの心と基本をいつまでも守って継続すべきだという先生の教えが随所にみられました。先生の著書を基にした素晴らしい基調講演でありました。心に残るIMでした。



第3136回 例 会 記 録 平成31年3月29日

開会 山内一正 会長
・四国中央市国際交流協会へ
①総会・交流会のご案内
②会報誌4、5月号

出席報告
出席会員(33名中) 28名
出席率 87.50%
第3134回修正出席率 93.55%

例会行事
IM報告

会長の時間
○定例理事会報告
・地区行事参加の際の交通費について 承認
乗り合わせて車を提供した会員に交通費を支給
・4月度プログラムについて 承認
4/5 地区研修・協議会報告
4/12 クラブ協議会(炉辺会合)・クラブアセンブリー(夜)
4/19 定款・細則について
4/26 定款・細則について、定例理事会

ニコニコ紹介
山本哲也君～明後日、31日(日)に父の13回忌法要があるため、地区研修・協議会を欠席させていただきます。申し訳ございません。又、当日は母の喜寿のお祝いもする予定です。

幹事報告
・RI日本事務局 ～ 財団室ニュース
・米山梅吉記念館 ～ 館報(春号)
・例会変更通知
(川之江)
①日時 4月30日(火) 休会
②日時 5月 7日(火) 休会

4月12日プログラム予定
クラブ協議会(炉辺会合)
クラブアセンブリー
(時間:午後6時～)
(場所:グランフォーレ)